

2017-2018

Weekly Bulletin of KAKOGAWA CHUO R.C.

●R.I.会長／イアン・H.S.ライズリー ●地区ガバナー／瀧川 好庸
●会長／大西 淳滋郎 ●幹事／井上 孝明 ●クラブ会報委員長／宮本 鹿司夫
●事務局／〒675-0064 加古川市加古川町溝之口 800 番地 加古川商工会議所会 5F
TEL 079-421-5152 FAX 079-421-5559 E-mail info@kakogawa-chuo-rotary.club



ロータリー：
変化をもたらす

第 2121 号

平成30年 3月 29日 (木) No 33

卓話：松尾 邦光会員



★会長挨拶



★ 松尾 邦光会員



★ 矢野宗司ガバナーエレクト

会長あいさつ

大西 淳滋郎

皆さん、こんにちは。ようやく春らしくなってきました。来年の3月23日・24日と加古川で第2680地区の地区大会が開催されます。今年のように、暖かく・天候も良い日を期待しております。

去る3月22日から25日まで、小豆島から5分ほど船で渡った余島にて、テーマを『時（いま）を生きる』として、『第40回RYLAセミナー（青少年指導者養成セミナー）』が開催されました。当クラブからも4名を派遣致しました。22日には、喜多直前会長・田端会員青少年奉仕副委員長・濱田副SAAが兵庫大学生4名を引率して参加して頂きました。24日は、私大西淳滋郎・井上幹事・青少年奉仕委員会の長谷川委員長・田端副委員長・春木副委員長の5名が参加者の様子を確認に行っていました。25日には、私大西淳滋郎・田端青少年奉仕委員長が姫路駅まで生徒さんをお迎えに行っていました。全員、元気に帰って来てくれました。

このライラというのは、『Rotary Youth Leadership Awards』の略称で、『青少年指導者養成プログラム』と訳されています。当地区では20歳以上のリーダーを目指す若者を対象に3泊4日の合宿形式にて行われています。当地区のライラセミナーは、毎年3月に、小豆島の余島において第2670地区と合同で開催されています。私が余島に訪問した24日当日は、『桃太郎が人間達で倒せなかった鬼を犬・猿・雉を倒した方法は？』と言う課題で班ごとのオリジナルな発表・討論会が行われておりました。船の時間が決まっておりましたので、最後まで聞けなかったのが残念でした。兎に角、50名弱の参加者が元気に課題に取り組んでおりました。

この余島には、“人と出会い、神と交わり、愛の火の燃えるところ”という今井鎮雄パストガバナーの言葉が彫刻された碑があります。ロータリーが企画したこのRYLAはこの言葉に集約されています。即ち、このセミナーのスケジュールの構成もこの言葉に当てはまっています

このセミナーは、ロータリーの世界と同じく、良質な出会い、良質な親睦を熟成するところから始まります。これが“人と出会い”であります。開校式の後には、初めて出会った受講生同士の親睦を深めていくプログラムが設定されております。“神と交わり”とは、ロータリーの世界では、奉仕哲学の追求・真理の追求を意味します。“愛の火の燃える”とは、ロータリー的に言えば、奉仕の心が育つことでもあります。

ロータリーが親睦の内に奉仕の心を生み出して行くように、このライラも受講生達の自律と親睦の内に、彼等彼女等の心の中に、暖かい奉仕の心が生まれれば幸いであり、地域へ帰って実践してくれることを期待しているのです。実は、愛の火がともるか否かは、彼等次第であり、地域へ帰ってからともるかも知れず、10年後にともるかも知れなし。或いは永久にともらないかも知れない。ただ、ロータリーとしては、そのための種を蒔いておこう、ただ、それだけのことをしよう。その種が芽生えるか否かは、私達が信頼した彼等彼女等に委ねよう。暖かく見守って行こう。そして未来に期待をかける。これがライラの趣旨であります。

最後になりますが、着々とローターアクトクラブ設立に向けて、青少年奉仕委員会には取り組んで頂いております。期待しておいてください。会長の時間を終わります。